

伊丹公論

復刊
第7号
通巻26号

発行所
伊丹市立図書館ことば蔵
伊丹市宮ノ前3-17-14
電話 072・784・8170
編集
伊丹公論編集委員会

受け継ぐ「なぎなたの歴史」

3月21・22日に第10回全国高校選抜大会



第50回伊丹市中学校連合体育大会で2年生女子約240人がなぎなた演武
＝昨年9月26日、伊丹スポーツセンターで

全国高等学校なぎなた選抜大会が3月21・22両日、伊丹スポーツセンターで開かれる。近代なぎなた発祥の地・伊丹で開催され始めて今回は記念すべき10回目を迎える。この機会に伊丹となぎなたの歴史をひも解いてみた。

弁慶も愛用

漢字では「薙刀」と表記されるこの武器が、いつ誕生したか定かではないが、最も盛んに使用されたのは源平時代と言われる。京の五条大橋で武蔵坊弁慶がこれを振り回して牛若丸(後の源義経)と戦った伝説は有名である。

一時は兵の主要武器だったが、応仁の乱のころから戦闘スタイルが足軽による集団戦に変わると、振り回す形のこの武器より有利と槍が主流に。その後、戦国時代に鉄砲が伝来すると、長い柄の武器そのものが衰退、次第になぎなたは僧兵や武家の女性や子どもなどの護身用として使

用されるようになった。

まちの自衛のため修武館設立

江戸時代初期の寛文元年(1661)、幕府領であった伊丹郷町の大部分が、五摂家筆頭、近衛家の領地に切り替わった。近衛家の庇護も得て酒造業が発展するなか、伊丹では住民が主体となった「惣宿・老制」という名の自治が行われた。

惣宿老は伊丹の酒造家たちが交代で務めたが、小西家七代の朝巴からは小西家当主が一人で務めるようになった。朝巴は、政治・経済だけでなく、まちの治安も守らなければならないとして天明6年(1786)、近衛家に請願して私設道場を設立し

た。これが現在の「修武館」で、日本三大私設道場の一つである。

伊丹から近代なぎなた広まる

明治維新によって、武家社会が消滅したが、修武館では武道を失ってはいけな思考え、古武道二大流派の一つである「天道流」を伝承してきた。第二次世界大戦後の武道禁止の苦難の時代を経て、昭和28年(1953)に武道が復活すると、修武館と縁のある人々がなぎなた復興に尽力した。

そして、昭和30年(1955)、伊丹に本部を置く「全日本なぎなた連盟」を発足させ、平成2年(1990)には国際なぎなた連盟も伊丹で結成した。平成18年(2006)3月に第1回全国高等学校なぎなた選抜大会、同年10月にのじぎく兵庫国

第2回

伊丹老松酒造 武内社長 特別寄稿

前号に引き続き、「清酒発祥の地」についてお話ししたいと思います。

◇行基と伊丹 伊丹市と同じく清酒発祥の地を標榜する奈良市の近鉄奈良駅前広場にはブロンズの行基像と噴水があり、地元では行基広場と呼ばれて親しまれ、待ち合わせスポットなどとして多くの人に利用されています。奈良市と伊丹市の意外なつながりですが、奈良時代の高僧、行基(668〜749)は、人々を指導し、伊丹台地のほぼ中央部の東西に連なる陥没帯に昆陽池などの五つの池を造成しました。長尾山から流れ出す

ふるさと寄附のご案内



ふるさと伊丹が大好き!!!



みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹 伊丹市

ふるさと寄附に協力を

今年の全国高等学校なぎなた選抜大会には全国46都道府県から約300人の選手が出場し、来年以降も伊丹で開催することが決定している。伊丹市にふるさと寄附することで、この寄附金が次回以降の大会運営費をはじめとした、市の教育振興や、まちづくりなどで活用され、お得な記念品も選ぶことができる。問い合わせは伊丹市政策室 ☎072・784・8007 へ。

め、全国で初めて市内全ての中学校でなぎなたを導入することを決めた。

現在の会員数は全国で6万5千人を超え、世界10数カ国に普及、国際スポーツに発展した。伊丹は「近代なぎなた発祥の地」と言われる。

本市の中学校でなぎなた必修化

平成24年、学習指導要領の改訂により、中学校で武道が必修化された。全国的には柔道や剣道を選ぶ学校が多いが、伊丹では郷土の武道である「なぎなた」を次世代へ継承するた

平成21年から3年間、モデル校を指定して試験的になぎなた授業を実施し、市教委も独自に作成した指導用テキストを学校に配布するなどしてバックアップ。そして、平成24年から全中学校でなぎなた授業を年間8時間から10時間実施している。

技力向上に取り組んでいる。針本さんは「授業では、なぎなたをするこで不思議と生徒の背筋がピンと伸び、普段以上に集中力が増していった。改めて、なぎなたの持つ力を感じた。いきいきとなぎなたに取り組む生徒の姿を見ることができ嬉しかった」と話している。

協力や奉仕によって成された経緯故といえます。この頃から伊丹には参画と協働の精神が息づいているのかもしれません。

◇「清酒発祥の地」島根も名乗り

「清酒」という言葉は「濁り酒」に対するものですが、かつて奈良の正暦寺では諸白造りによって神や仏に供える酒が造られ、一方、伊丹では商業用として清酒が造られていました。このように、清酒発祥の地を争っている伊丹市と奈良市ですが、他にも「日本酒発祥の地」を謳う地に島根があります。

日本書紀には、須佐之男(すさのおのみこと)や大蛇(おほろ)を退治するために八度にわたって醸す酒、八塩折(やしおり)の酒というものを造らせる記述があり、神話の時代からこの地に酒造りの高度な技術

が定まっていますが、今年10月の日本酒の日には、出雲市、奈良市、伊丹市の3市で日本酒のフォーラムが開催できないかと計画中です。実現できれば、昨年以上の盛り上がりが見込めることでしょう。

2回目はこまめでいたします。早春は出会いと別れの季節。春景色のなか、しみじみと良いお酒を味わっていただけでしたら幸いです。

伊丹交通史①～阪急電鉄編

「次は伊丹、急行の通過待ちをいたします!」

「宝塚へ飲みに行かへん?」

「今からやと塚口、西北^{にきた}經由で行かなあかんから、時間的に無理やがな」
「何言うてんの。阪急伊丹から宝塚行きに乗ったら、すぐやんか」
「えっ!」

世が世なら、そんな会話が阪急伊丹駅で交わされていたかもしれない。

まぼろしの路線、それが阪急伊丹線の延長路線だ。もともと阪急伊丹駅は現在地より約200^{メートル}南東に位置していたが、昭和43年(1968)に市のグラウンドだった現在地に移転。宝塚への延伸を考え、ホームは2面3線とし、列車の通過待ちが出来る構造になっていた。

しかし、計画が動かないまま平成7年(1995)の阪神・淡路大震災で駅舎が倒壊。再建された駅は、通過駅風の造りにはならず、ついに1面2線の行き止まりの駅となってしまった。

話は大正時代にさかのぼる。神戸線開通に備えて箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)は、路線敷設の特許を得ていた。これは、西宮駅、神戸駅間の難循環線(計画打ち切り)に接続するため、十三から神崎川、そして神崎川からは伊丹の南端を通り門戸に至るというものであった。しかし、最短で結ぶために伊丹を通らず当時の国鉄に沿って直進する計画に変更した。その後、地元からの熱い要望により線路は少し北へ、現在の塚口經由となり、伊丹線が作られることになったのである。

また、今の能勢電鉄が阪急伊丹まで延伸を計画

したが、紆余曲折の末、昭和33年(1958)に正式に中止になった。一方、塚口から阪神尼崎駅まで阪急伊丹線を延長する計画もあったが、これも中止になっている。



旧阪急伊丹駅。ホームは2面3線構造だった(阪急電鉄提供)



ビジネスでも使えることば蔵

4月は入社シーズン。新入社員に特に知ってもらいたい「ことば蔵ビジネス活用法」を紹介する。
アフター5をいかに有効活用できるかは、ビジネスマンとして成長するうえで極めて重要。知の拠点、ことば蔵はJR伊丹駅・阪急伊丹駅からともに徒歩約12分の便利な位置にあり、平日は夜8時まで開館している。仕事帰りに立ち寄って、ぜひ活用してもらいたい。
4階にある学習室には学習机が130席以上用意され、予約不要で使用可。

宝塚発阪神尼崎行き、川西能勢口発阪神尼崎行きが運行され、急行が伊丹に停車……。歴史に「もし」はないと言われるが、それら3路線が開通していれば、伊丹の交通利便性は

(細尾哲也)

今よりはるかに高く、宝塚、川西、尼崎との結びつきも、より強くなっていただろう。

パソコンを使って仕事する場合は、パソコン専用機で電源を使用することもできる。

3階図書エリアには、ビジネス書がそろった「はたらくコーナー」がある。このコーナーには社会人としての心構えやスキルアップ、業界情報など多種多様なビジネス書があり、自分の仕事に役立つ1冊を見つけたことができる。また、レファレンスカウンターでは、あなたが求める本を探してお手伝いしてもらえ、情報交流ルームではインターネットの閲覧や各種データベースが利用できる。2階には新聞・雑誌コーナーもある。

5月19日から1週間「コワーキングスペース」

1階の交流フロアに5月19日から24日まで、「コワーキングスペース」が登場する。ことば蔵ビジネスウィーク」と銘打ち、さまざまな職種の人たちが集まり、アイデアやスキル、人脈などもシェアしながらお互いを高め合おうという企画だ。

コワーキング(Coworking)はアメリカ西海岸で生まれ、現在広まりつつある新しい共働の形。職種に関係なくさまざまな人が集い、ビジネス書もそろったことば蔵にぴったりだ。

また、期間中には、カエボン部も開催する。自分の薦めるビジネス書を持ち寄り、その紹介を通して他の参加者と交流していただくなど、さまざまなイベントを実施する。

新入社員もベテラン社員も、ことば蔵を活用し、「できるビジネスマン」を目指してみたいかがだろう。

郷土史こぼれ話⑦

萩のナツミカン

昨年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」は、有岡城主、荒木村重が準主役級で大いに見せ場を作り、伊丹市民はたつぷりと楽しんだ。全国の歴史ファンを伊丹にぐい引き寄せた。

今年大河は「花燃ゆ」だ。明治になる前の日本の夜明けを、長州藩の志士を中心にダイナミックに描く。山口県の萩はその舞台。

実は伊丹は、その萩と果実で歴史的につながっている。それがナツミカン(夏みかん)である。萩にはナツダイダイ(夏橙)が黒潮に乗って山陰の海岸に流れ着き、その種子からナツダイダイ栽培が盛んで萩藩の台所を潤してきたという歴史がある。大政奉還から明治維新となり、職を失った士族などの殖産振興策として更に奨励された。城下町は今もナツダイダイが揺れている。

明治の初めごろ、その旧士族、田村新五郎らが伊丹の園芸どころ東野へ来て接ぎ木の技術を学び、ミカンの穂木を持ち帰り更に磨きかけた。その支払いはお金ではなく武士の魂と云われる刀だったという。その刀が蔵にたくさんあった。子どもはチャンバラっこ

明治の初めごろ、その旧士族、田村新五郎らが伊丹の園芸どころ東野へ来て接ぎ木の技術を学び、ミカンの穂木を持ち帰り更に磨きかけた。その支払いはお金ではなく武士の魂と云われる刀だったという。その刀が蔵にたくさんあった。子どもはチャンバラっこ

萩・山口は伊丹に馴染み深い日露戦争の武人、乃木希典^{の生まれすけ}輩出の地でもあり、今年大河は別の意味で応援したい。

(郷土史研究者 森本啓一)

英語註釈日和

ビジネスマンにも知ってもらいたい自分を励ます簡単英語ベスト5。私の人生で、実際に助けてもらった短文英語です。効果絶大。

- ①Success is in your hand.
成功なんてどこにもない。あるのは自分の手の中だ。
- ②Don't lose sight of your future.
自分の未来から目をそらしてはダメ。
- ③Now is the time to do your best.
今こそ、がんばれ。
- ④Think positively and step forward.
前向き思考で1歩前進。
- ⑤Don't give up, never give up.
今が大事、今後も大事。

(濱昌央)

伊丹市が堂々2連覇

2月1日に加古川市の県立加古川河川敷マラソンコースで開催された第69回兵庫県対抗駅伝大会男子の部で、伊丹市が堂々の2連覇を

成し遂げた。伊丹市は昨年の第68回大会で悲願の初優勝を果たし、連覇に向けたプレッシャーは並ならぬものがあつ

県都市区対抗駅伝男子の部



ガッツポーズでゴールテープを切る藤村行央選手

た。しかし、1区の伊藤和麻選手

(26)が他チームの追走を許さない圧倒的な走りです。トップに立つと、その後も全7区で一度も首位を譲らず、前年の大会新記録を56秒縮める2時間7分44秒のタイムで完勝。伊藤選手と5区的那須大地選手(25)が区間賞を獲得し、ラストの7区では藤村行央選手(27)が姫路市アンカーの猛追をかわしてゴールテープを切り伊丹市に再び駅伝王国・兵庫の頂点に立つ栄冠をもたらした。

現在の男子チームは元日のニューイヤーマラソンにも出場した住友電工所属の社会人選手が中心。監督の橋本忠幸さん(47)は「けがや体調不良の選手がおり心配していたが、中学生が期待以上に活躍してくれた。現在は実業団中心のメンバーだが、来年は高校生や大学生を育成し、3連覇を成し遂げたい」と、さらなる高

みを目指す決意を表明した。

なお、同日に全5区間で開催された女子の部(第28回大会)は開催地の加古川市が優勝。伊丹市のタイムは1時間26分56秒で、4部の全15チーム中9位だった。

伊丹市の出場全選手のタイムは次の通り(敬称略)。

【男子】1区・伊藤和麻 29分17秒(区間賞) 2区・久門大輔 18分1秒 3区・天野克俊 9分45秒 4区・熊谷拓馬 24分50秒 5区・那須大地 17分53秒(区間賞) 6区・中田光祐 10分13秒 7区・藤村行央 17分45秒

【女子】1区・池下実由菜 24分3秒 2区・児玉弥生 18分24秒 3区・井田まり子 11分50秒 4区・小嶋華 11分59秒 5区・上山夏果 20分40秒

(橋岡昌幸)

現代人物

風景



写真協力＝西田写真館

荒木宏之さん

クロスロードカフェ店主・伊丹商店連合会会長

場が必要だと感じ、喫茶店を開業した。今では伊丹の情報発信基地的な場になっている。

氏はJR伊丹駅と阪急伊丹駅、伊丹シティホテルと猪名野神社の東西南北の四極二軸が

クロスするその場所から、まちの動きを見続けてきた。

「モノを置いたら売れる時代は終わった。オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなどの不況を経て、何か付加価値を生み出さなければ、モノは売れなくなっている。今、必要なのは、まちのポテンシャルを高め、活動するうちに、拠点となる

シビックプライドを醸成することだ」と、伊丹まちなかバルをはじめ様々な事業に奔走する。

その結果、店同士の横のつながりができ、若い世代から伊丹郷町屋台村などのアイデアが出てきた。点から線へ、線から面へと拡がることで伊丹のまちなにぎわいが生まれてきた。

「ここ数年、若い商売人が自店だけでなく、まちのことを自分のこととして考えるようになってきた。町の人もそれを温かく見守り、サポートしてくれている。若い世代がどんどん育ってきているから、まだまだ伊丹は面白くなる」と、目を輝かせる。

奇しくも今年、伊丹商店連合会は創立60周年、そして荒木氏も同じ60歳。生まれた年と同じ千支に還ることから還暦と呼ばれ、新たな人生が始まると昔から言われている。生まれ変わった商店連合会と荒木氏の更なる飛躍を伊丹市民として大いに期待し、楽しみにしている。

(村上有紀子)



丸十ロッカー株式会社

〒664-0858 伊丹市西台4-1-26
☎072-772-2654

昭和41年(1966)の創業以来「清潔で気持ちよく、安心して使えるロッカーの提供」を理念としてコ



インロッカーの管理業務を行う。

現在の代表取締役は三代目の田恭子さん。会社名「丸十」の由来がユニークだ。田家の家紋に由来しており「丸」に「十」と呼称されることから「丸十ロッカー」と創業者の田季晴氏が命名した。

日本では初めてコインロッカーが設置されたのは昭和39年のこと。当時、東京の会社がアメリカの企業と技術提携のうえ製作、国鉄(現JR)新宿駅に設置した。

お家にプラネタリウム出現

子ども文化科学館の工作キット

今号も前号に引き続き、ミュージアムショップをとりあげる。

伊丹の空の玄関口・伊丹空港に隣接する「子ども文化科学館」(桑津3)は平成25年3月にリニューアルオープンした同館の目玉はメガ

スターという最新鋭のプラネタリウム(投影機)で、リニールアル後は来館者やイベントへの参加者も増えている。お土産はもちろん宇宙関連グッズ、そして同館イメージキャラクター「ひよんたん」

にちなんだものが多い。星座早見、20種類もある同館オリジナルの缶バッジなど多彩だ。星座うちわ、「地球」や「月」を作れるペーパークラフトは1階の工作スペースで作ることができる。数年に一回の火星接近時には火星ペーパークラフトも供される。

丸川章・学芸員の一推しは「マイ☆プラネタリウム工作キット」(500円)写真。開館20周年事業として科学館サポ

ーターが「70分間で工作完了」「1セット500円」をコンセプトに試作に試作を重ねて完成させた力作で、シンプルな構成ながら見栄えは本格的だ。

実際に作ってみた人に聞いてみたところ、「作り方の冊子を見たとき、難しいかと思ったが、作り方がとても丁寧に書いてあるの、小学1年生と4歳でも手伝える箇所が多くあり、母子ともに楽しめた。穴を開ける過程が結構楽しく、4歳でもけがすることなく取り組み、実際に光るとさらにテンションが上がった。今まで星座にはあまり興味がなかったが、寝る前の楽しみが少し増えた」とのことだ。

かつて、メガスターの開発者である大平貴之さんが自宅の部屋で夢見て、そして作り上げた星空と同じ体験を是非とも味わっていただきたい。

(齋藤芳弘)

伊丹歌壇

優秀賞

坪内稔典 選

古本に挟まる葉（お父さん）あなたもここが好きだったんだ

真篠 未成 （東京都小平市）

父の読んでいた本で父に出会う。これって、うらやましいような体験だ。括弧の中の「お父さん」は言うまでもなく父への呼びかけ。

優秀賞

ことは蔵の歌会始 選

古書店の隅に見つけし君の背に触れる指先初恋に似て

善生 由華 （東京都世田谷区）

佳作

あなたから借りたカフカを返すためピンクのリップ丁寧に塗る 岡部 美穂（東京都八王子市）
 本好きの子というだけで褒めるとは何も分かってないね、先生 遠藤 けいこ（埼玉県狭山市）
 亡くなった祖父と語らう午後るとき祖父が遺した本棚の前 五十嵐 えみ（大阪府枚方市）
 漱石と大吟醸が在れば良し八十路の吾れの最良の友 瀬川 忠泰（伊丹市）

宮内庁の新春恒例行事「歌会始の儀（お題「本」）」にちなみ、皇居に負けないオリジナルの「ことは蔵の歌会始」を1月18日に開催した。応募があった52首から来館者の投票で10首が選ばれ、歌会始で発表。歌会をした後、参加者の投票でこの作品が選ばれた。

次回、いつもの「伊丹俳壇」に戻り、題「歩」の俳句



坪内稔典プロフィール

愛媛県出身。立命館大学卒。2001年、第9回句集「月光の音」で第7回中新田俳句対象スウェーデン賞を受賞。2010年、「モロク俳句ますます盛ん俳句百年の遊び」で第13回桑原武夫文学賞受賞。佛敎大学教授、京都教育大学名誉教授。柿衛文庫也雲軒塾頭。

伊丹今昔物語

震災20年 西台の商店主ら復活宣言

阪神・淡路大震災から20年。この震災で大きな被害を受けた商店主らのユニークな、商店街活性化の取り組みを紹介する。

震災は平成7年1月17日午前5時46分に起きた。伊丹市では、死者23人、負傷者2716人、被害家屋2万8745棟（5万2838世帯）

という未曾有の被害を受けた。

本市の交通の要・阪急伊丹駅が倒壊。3月11日に仮駅ができるまでの約2カ月間、運行が止まった。その後、JR東西線開業（平成9年）、JR伊丹駅前での大型商業施設開業（平成14年）なども重なり、利用客の相当数がJRに流れた。



おもしろポスターと南方さん

この地殻変動が、商業の中心地だった阪急伊丹駅周辺の商店街を直撃。撤退・廃業を余儀なくされる店舗も相次いだ。

しかし、商店主たちはくじけてはいない。伊丹西台商店会とリタ商店会は、大手広告代理店に熱烈に働きかけ、「伊丹西台ポスター展」を昨年11月に実現させた。クリエイターが各店舗のおもしろポスターを制作、集客と店舗の魅力アピールを図り、にぎわいを取り戻すのが狙い。

アイデアとユーモアに満ちた約150枚のポスターが4カ月間展示され、市内外から多くの人が西台を訪れた。1月17日には「西台復活祭」を開催し、黙祷が行われた。

阪急伊丹駅ビルリタ1階に店舗を構える、下着とカバン「マツヤ」店長の南方忠司さん（37）は「震災直後、店に駆けつけ、帰宅した父の『あかん』という一言が今でも忘れられない。震災後、青空市を開くなど復興を目指し努力してきた。そして、この西台ポスター展がきっかけで、初めて来店したお客さんが増えただけでなく、商店主同士がつながり、西台が一つにまとまった」と話している。

七杯目



▼やつぱり俺は

先日、菊正宗酒造（株）の嘉納社長とさしでお会いする機会があった。非常に優雅な雰囲気がある方で、ユネスコの世界文化遺産登録を受けた「和食」の普及研究会代表幹事でも

清酒発祥の地・鴻池PRへ

「たるまる」誕生

清酒発祥の地・鴻池をPRしようと、鴻池商工会がマスクोटキャラクターを制作、その愛称を「たるまる」とすることが2月8日の「第18回白雪蔵まつり」で発表された。



白雪蔵まつりに現われた「たるまる」

たるまるは体形を模倣することで清酒のイメージを出し、ねじり鉢巻を付けることで祭りのにぎやかさを演出したデザイン。全国から寄せられた1299件の応募作品の中から寺西陽菜子さん（小学5年）の伊丹市鴻池に10人による「たるまる」が選ばれた。鴻池商工会会長の坂本泰男さん（76）は「若い人たちの中には、鴻池が清酒発祥の地だと知らない人も多い。地元のお祭りなどでたるまるを活用し、多くの人にアピールしていきたい」と話している。

いらつしやる。後半は酒だけでなく、まちづくりや食の話題で盛り上がった。いつか、連携できれば。

菊正宗と言えは「初めてのまちでいつもの酒」というCMを想い出す。亡くなった父は菊正飲んだた。私は白雪・老松・大手柄の次に好きな酒（笑）。

ちよつとマニアックな話をする

と、菊正宗は「生酛」造りの酒が飲める。生酛とは酒造りの段階で生酛を作る際に必要な乳酸を市販のものではなく、自然の生きた乳酸菌を使うので、手間と時間がかかる。菊正の生酛は雑味が少なく、味にふくらみがある。正月は親父を偲んで菊正宗で一献。

▼漁蓄の続き

昨年末に学生時代の連れと恒例の忘年会。その中で先述した生酛造りの話になり、地酒酌み交わし大会と化した。すべて冷やでいたのだが、燗か冷やの議論になった。一般に安酒を飲む時は燗という印象があるが、拙者は絶対冷や。燗をすると隠れている雑味が出るので、安酒ほど冷やで飲む。

▼今年の抱負

今年でも日本酒を飲んできたが、今年からは特にこだわりたい。いや、日本酒だけでなく「和」にこだわりたい。い。（ときわ喜多）

